

与儀小学校区を中心としたまちづくり協議会設立

2011年2月23日

与儀小学校区まちづくり協議会準備会

楽しくつながる和儀のまちをめざして（趣意書）

戦前、与儀地域一帯は、典型的な農村で「団結心」の強い地域でした。戦後、いち早く都市に生まれ変わっても、与儀の人々のその心は受け継がれてきました。

さて、今回、那覇市の支援のもとに一年間の準備期間において「与儀小学校区まちづくり協議会」が発足するに至りました。与儀地域の住民主体の活動を通じて交流を深めながら、地域が抱えている課題を地域が一体となって取り組み、楽しくつながって安心・安全で住みよいまちづくりを推進することが会の目的です。現在、会は、民生委員児童委員、与儀八三会、医師、団体職員、学校関係者、PTA、地域の企業等々様々な職種の方々に構成され、まちづくりに向けて建設的な意見が交わされてきました。実際、私たちの周囲を見回すと、一人住まいのために困っているお年寄り、社会参加できずに引きこもってしまった方、育児に悩む主婦、幼児児童生徒の支援指導に関わる問題等があります。それらの問題に対して、市当局や公的機関等が問題の解決に対応しているところですが、困難を示している状況があります。そこで、地域の住民・企業・公的機関が連携し、互いに協力し合いながら解決し、住みよい地域をつくっていく必要があると考えます。

そこで、本協議会は次のような事業を計画しています。

- ① 地域住民の交流や親睦を深める事業（例：ごみ拾いや花の苗植え）
- ② 地域の身近な課題の解決に向けた事業
- ③ 地域の子どもの健全な成長のための事業

特に、地域の子どもは、将来を担う大事な人材であるだけに力を入れて取り組む必要があると考えます。一人一人の子ども達が夢や希望を持ち毎日を元気いっぱい生活できるような環境をつくっていくことは大人の責任でもあります。

昨年11月、まちづくり協議会準備会で「与儀地域は住みやすいですか」というアンケート質問を行いました。それに対してほとんどの人が「住みよい・まあまあ住みよい」と応えていますが、先に述べたように、一方では悩みを抱えている方々もいます。

この与儀地域が益々住みよい地域になり、生活するうえにおいて、みんなが共に生きる楽しさや喜びを実感できるまちづくりをめざしていきたいと思います。隣人が困っていることに無関心ではいられず、みんなで力を合わせ「楽しい暮らし・住みよいまち」をつくりましょう。多くの方々がこの趣旨に賛同し住みよいまちづくりの共感の和が広がることを心から願っています。

※現在の応援団体

与儀八三会、与儀小学校・幼稚園、与儀小PTA、真和志第4民生委員児童委員協議会、那覇市社会福祉協議会、JA真和志女性部、親父の会、那覇警察署、県中央保健所、赤十字病院、地域相談センターにじ、城保育園、与儀後原通り会、琉球新報与儀販売所、沖縄大学、一般参加